自己実現への道

第 85 回 ー 第 6 章 「創意と忍耐の前に『不運』はない」(その 4)ー

★ 山を動かすにはどうすればよいか

どうすれば、ひとつの山を移動させることができるだろうか？

かつて万里の長城の城壁に立ったとき、この険しい山々の尾根の城壁を築くのに数百年かかったと聞いて、牧師は驚嘆し、あのエジプトの巨大なピラミッドも、人の手によって 1 個ずつ積み上げられ、作られたという事実に、茫然とした。

ダグラス・アンダーソン氏は巨大なヨブの大理石像の彫刻を開始した。彼は牧師にハンマーを渡し、「これで打ってみろ。本気で打たなければ駄目だよ」といい、牧師はあらん限りの力でハンマーを振り下ろした。ところが、大理石はびくともせず、小さなひとかけらがはげ落ちただけだった。それから数か月、何十万個もの石片が削り取られていたが・・・まだヨブの姿には程遠いものだった。ここで牧師は学んだ。山を動かすにはどうすればよいか・・・やることは・・・

ただ、一度にひとかけらずつ、削り取ることである。

重要な仕事の完成には何十年もかかることが少なくない・・・

それは 1 日 1 日の たゆまぬ努力によってのみ 可能になる

1 日 1 日、頑張って、コツコツ努力すれば、遂には巨大なものができるのだ。

★ ニーズを探り、ニーズに応える

マーケットが休みの日、店内がガランとしているが、人々が必要とする品物が店に置いてあれば、顧客はやってくる。商品やサービスを売るということは、顧客が抱えている問題に対する答え、すなわちニーズ満足させる商品や助力を提供するということである。

ニーズがあるのに、これに対する対応ができていないのであれば、ここにビジネスチャンスがある。

相手の欲しているものを知り、これに応える商品・サービスを提供することが重要であり、誰も必要としないサービスを提供しても無駄である。

マーケットをリサーチし、ニーズを探索し、これにマッチした商品を創造して提供すること・・・
ただひたすら、熱意をもって、探索と開発のために行動することで、成功は訪れる

<MIKO>

📖 参考文献：Tough Minded Faith For Tender Hearted People by Robert H Schuller より